

お天気実験教室

NPO法人 気象キャスターネットワーク(東京都)

●どんな実験・工作なの?

実験では、たつまきを手作りで発生させたり、雨を観測するしくみを体験したりできます。工作では、雲の模型を作って、いろいろな雲の種類とその形、発生する高さなどを学びます。また、自転車発電でせん風機を動かす体験もできます。

●実験・工作のしかたとコツ

[Ⅰ. たつまきを作ろう]

ドライアイスで作ったじょう気をすい上げると、うずをまいて、たつまきができます。じょう気は、手回し発電機でパソコン用のファンを回してすい上げます。

[Ⅱ. 雨をはかろう]

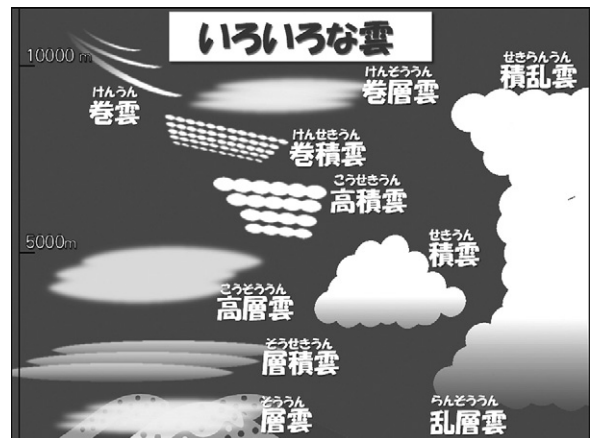
气象台では「転倒ます型雨量計」という機械で雨量を観測しています。実物の機械で、そのしくみを見てみましょう。

[Ⅲ. 自転車発電でせん風機を動かそう]

自転車をこいで電気を作り、せん風機を動かしてみましよう。電気を作る大変さ、電気の大切さがわかります。

[Ⅳ. 雲の模型を作ろう]

青い画用紙にワタをはって、雲の模型を作ります。どんな高さに、どのような形の雲ができるかわかるように作りましよう。



●気をつけよう

「たつまきを作ろう」の実験で使うドライアイスは、凍傷になる危険がありますので、直接手でさわらないようにしてください。

●もっとくわしく知るために

雲の性質や天気のおしくみについては、以下の本で、よりくわしく学べます。

・武田康男文・写真：「楽しい気象観察図鑑」 草思社 (2005)